

# 2010年度経営プラン

2010年5月

古河電気工業株式会社  
取締役社長 吉田 政雄

# 2009年度業績

# 09年度実績 当期利益+471億円増

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

	a	b	b-a
PL	08年度	09年度	増減
売上高	10,328	8,097	-2,231
営業利益	98	203	+106
持分法投資利益	3	33	+30
為替損益	-186	8	+194
経常利益	-148	193	+341
当期利益	-374	97	+471

- 売上高減少への銅・アルミ地金価格や円高の影響等-1,040億円
- 営業利益は電子・自動車向け素材の回復で上期実績-27億円⇒下期230億円
- 営業外の為替リスク解消も経常・当期利益大幅増の要因のひとつ

# 09年度実績 D/Eレシオ、ROA改善

FURUKAWA ELECTRIC

(総資産、有利子負債の単位:億円)

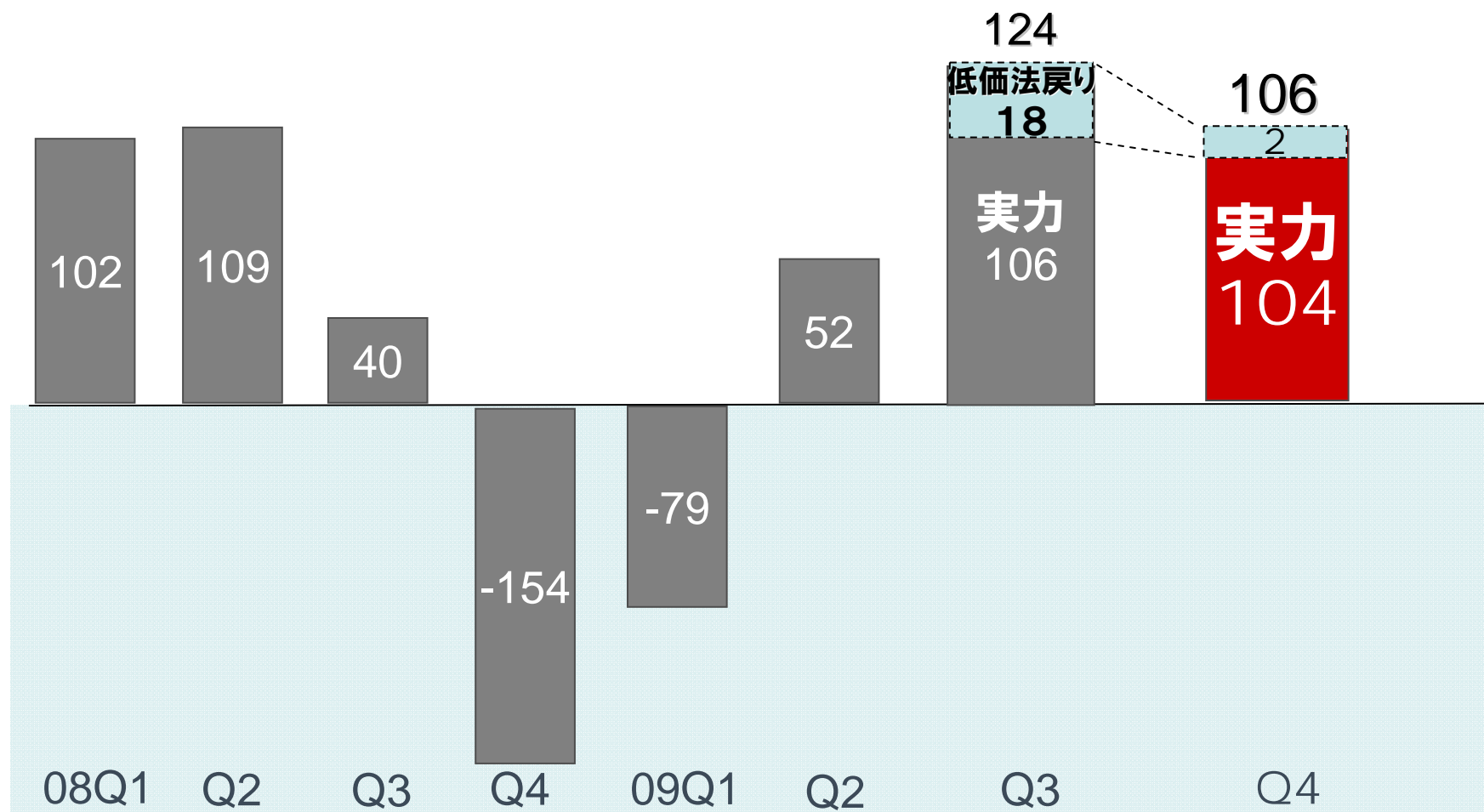
	a	b	b-a
BS	08年度末	09年度末	増減
総資産	8,457	8,358	-98
自己資本比率	16.9%	19.6%	+2.7
有利子負債	3,831	3,621	-210
D/Eレシオ	2.7	2.2	-0.5
ROA (営業利益ベース)	1.2%	2.4%	+1.2

# 09Q4営業利益 08上期水準に回復

●電子・自動車向け素材事業が回復

(単位:億円)

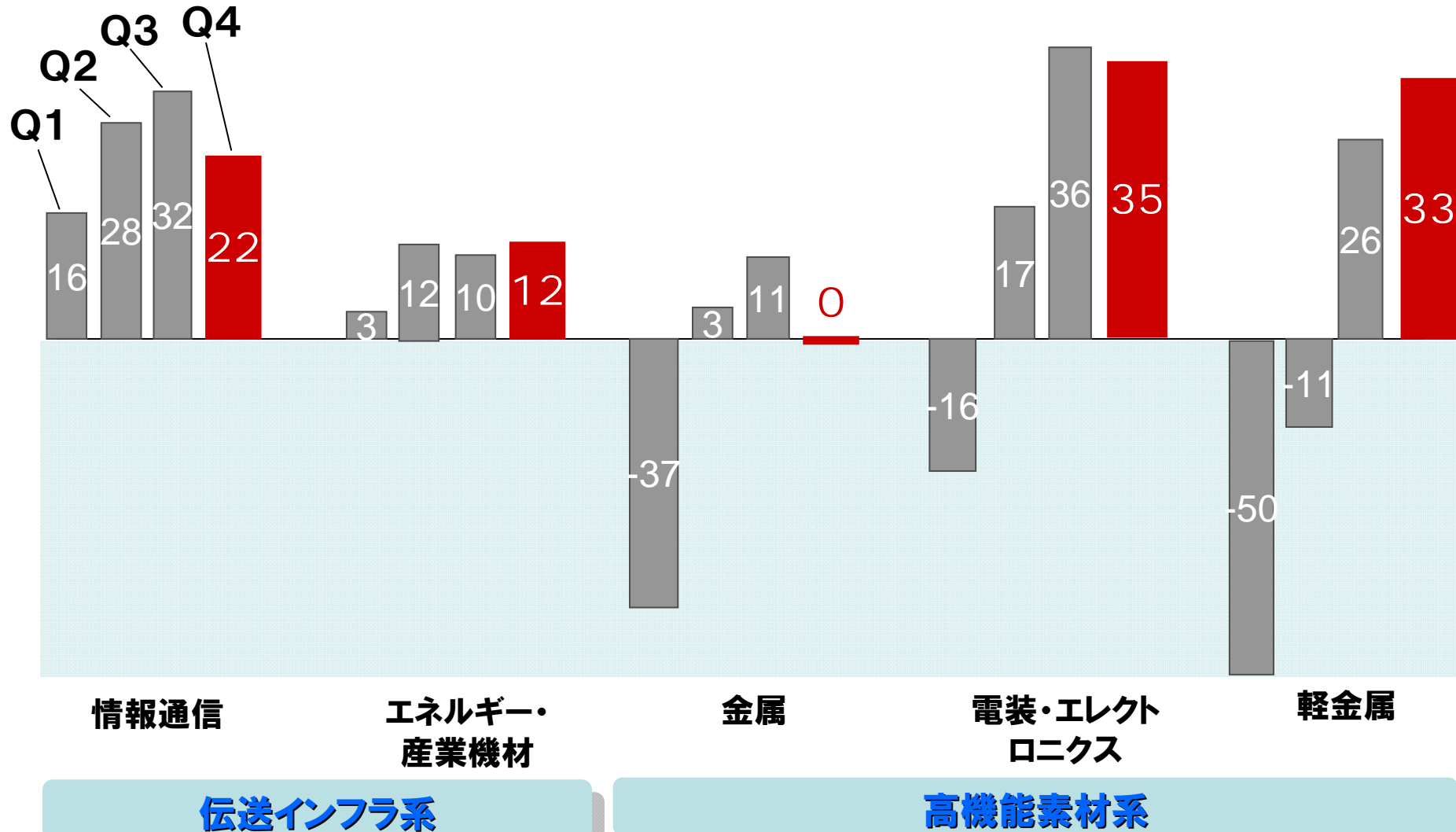
●低価法の戻り要因を除いた実力ベースでQ3と同レベル



# 09Q1～4セグメント別営業利益推移

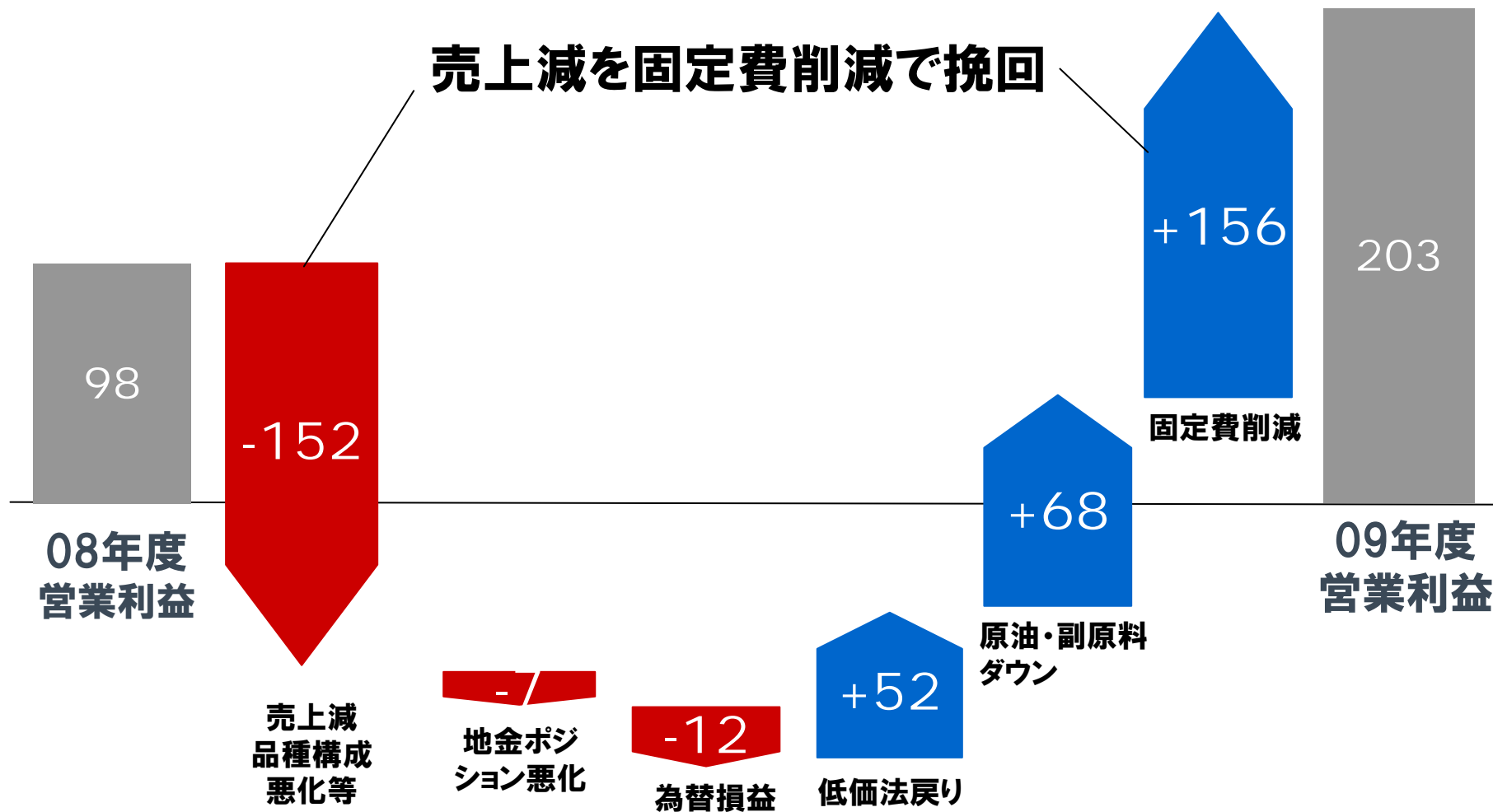
電装エレクトロニクス・軽金属など高機能素材系が好調

(単位:億円)



# 営業利益増減分析【08年度】⇒【09年度】

(単位:億円)



# 09年度に固定費156億円削減(08年度比) FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

項目	内容	Q1実績	Q2実績	Q3実績	Q4実績	年度計
設備関連	減損による償却費減 設備投資圧縮 銅線・発泡生産拠点集約等	+8	+10	+11	+13	+41
人件費・ 経費関連	労務経費圧縮 役員報酬・従業員給与カット その他経費圧縮等	+33	+28	+33	+20	+115
計		+41	+38	+43	+33	<b>+156</b>

通期見通し160億円をほぼ達成

Q4から従業員給与カット一部解除



# 09年度 BRICs、ASEANの成長を取込む施策 FURUKAWA ELECTRIC



**ブラジル**

**企業向けLANケーブル・光ケーブル拡販**



**ロシア**

**発泡新工場稼働、超高压ケーブル技術援助**



**インド**

**光ファイバ線引JV設立**



**中国**

**高压電力ケーブル増強**



**インドネシア**

**光ケーブル第2工場稼働**



**マレーシア**

**ワイヤーハーネスメーカーの経営権取得**



**ベトナム**

**ワイヤーハーネス第2工場稼働**

# 09年度 国内伝統的加工事業の構造改革

FURUKAWA ELECTRIC

## エネルギー産業機材

銅線の生産拠点を集約  
発泡製品の生産拠点を集約  
床暖房子会社をマックスに売却  
電力工事子会社が富士電機子会社と合併

## 金属

錫メッキの生産拠点を集約  
電極線の商権を沖電線に譲渡

## 電装エレクトロニクス

巻線の生産拠点を集約

## 軽金属

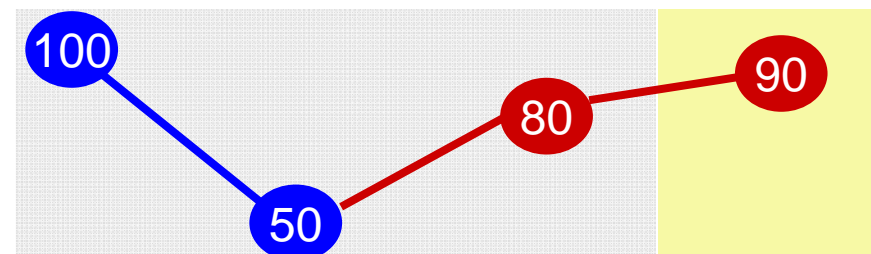
アルミ箔子会社をTOBで100%化  
アルミ板圧延の構造改革推進

数量ベース  
08上=100

08上 08下 09上 09下

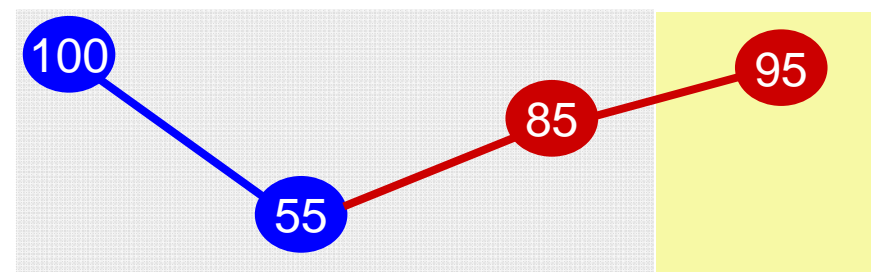
## 電解銅箔

(金属:リチウム電池、プリント基板用)



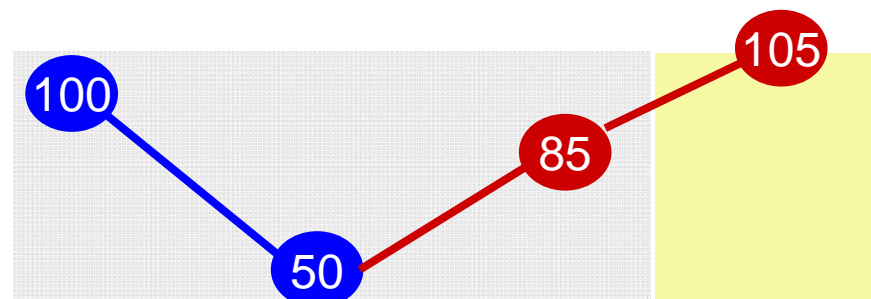
## 半導体テープ

(エネ産機:半導体ウェハ加工用)



## アルミブランク材

(電装エレ:ハードディスク用)



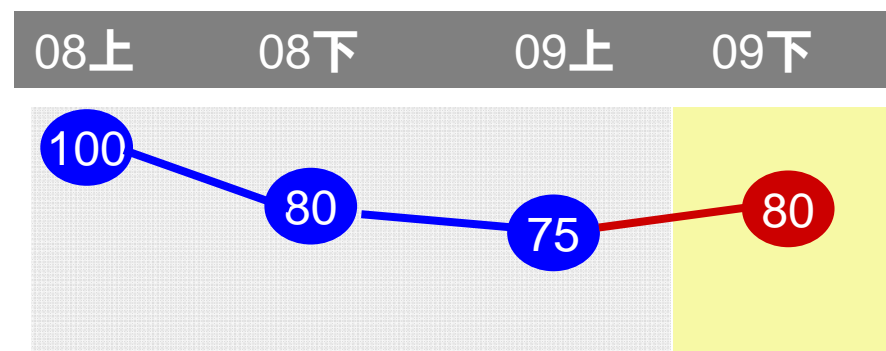
# 伝統的加工事業 08上期比80%前後へ回復

FURUKAWA ELECTRIC

単体・数量ベース08上=100

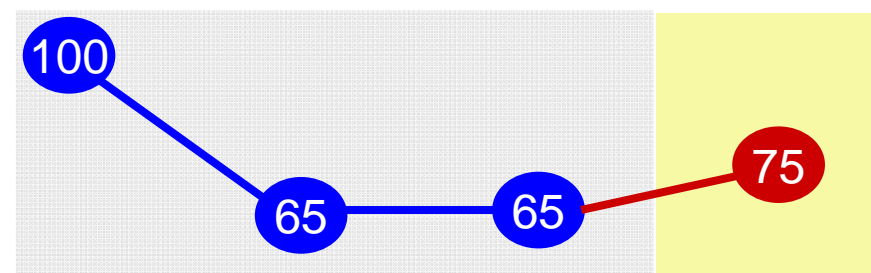
## 汎用銅線

(エネルギー)



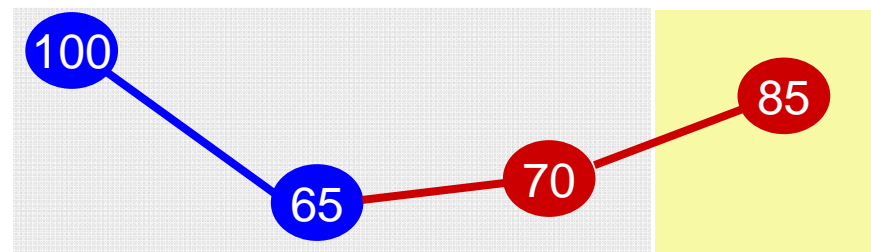
## 伸銅品(条+管)

(金属)



## 巻線(エナメル線)

(電装エレ)



# 2010年度予想

## 環境認識

### ●伝送インフラ系

情報通信 → 中国携帯整備でアジアの光ファイバ堅調、  
米国一部回復も欧州・日本は低調の見込み

エネルギー → 中国送電網投資減でも高圧ケーブルは堅調  
日本の建築関連は低調の見込み

### ●高機能素材系

電子／自動車 → 液晶・半導体、自動車関連製品は好調維持

## 施策

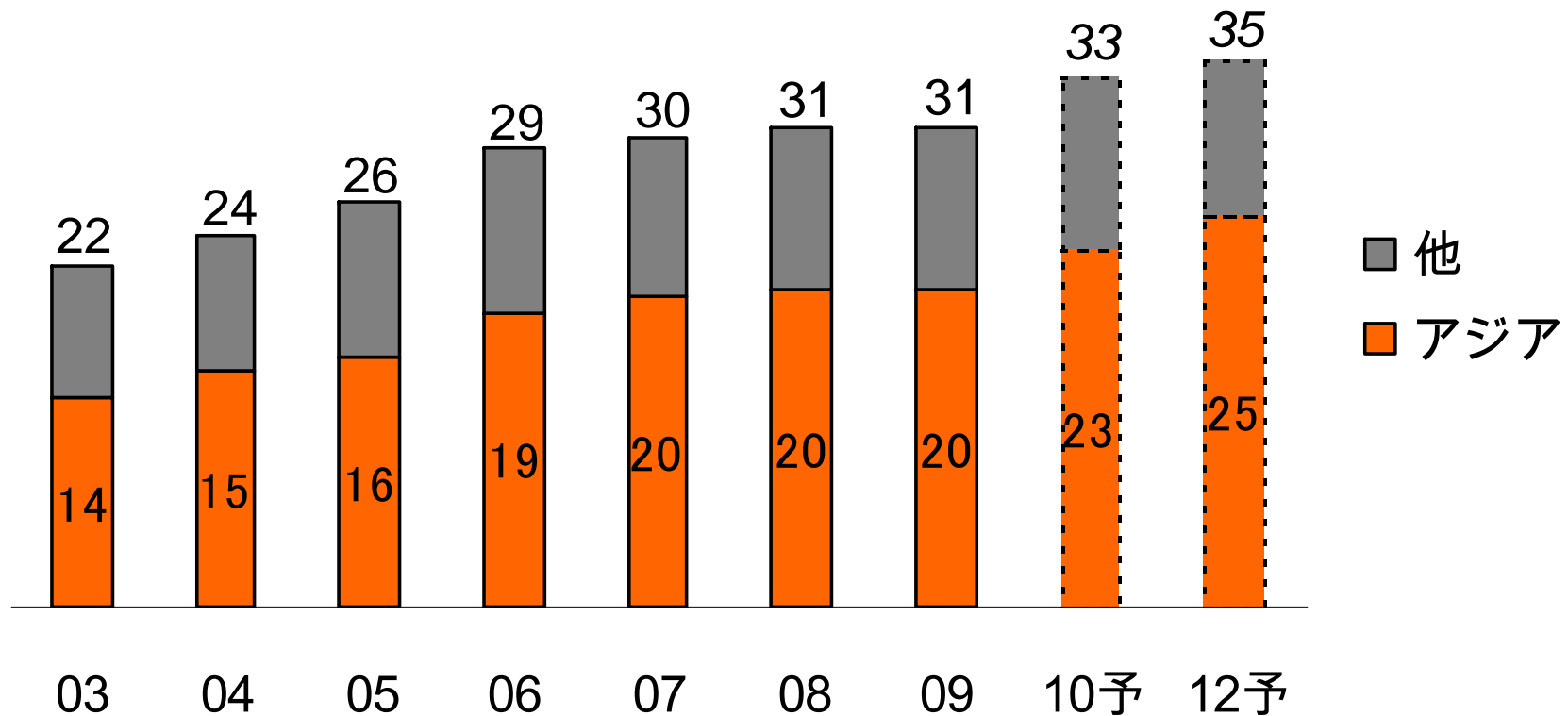
- **伝送インフラ系 「アジア内需の成長取り込み」**  
光ファイバ、高圧ケーブルを強化
- **高機能素材系 「成長新分野向けの量産体制確立」**  
自動車用銅箔、ガラス基板材などを量産化
- **伝統的加工系 「国内事業の再構築加速」**  
事業性評価委員会で方向性を明確化

# 海外売上高比率推移

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:%)

## アジア内需の成長取り込みで10年度33%へ





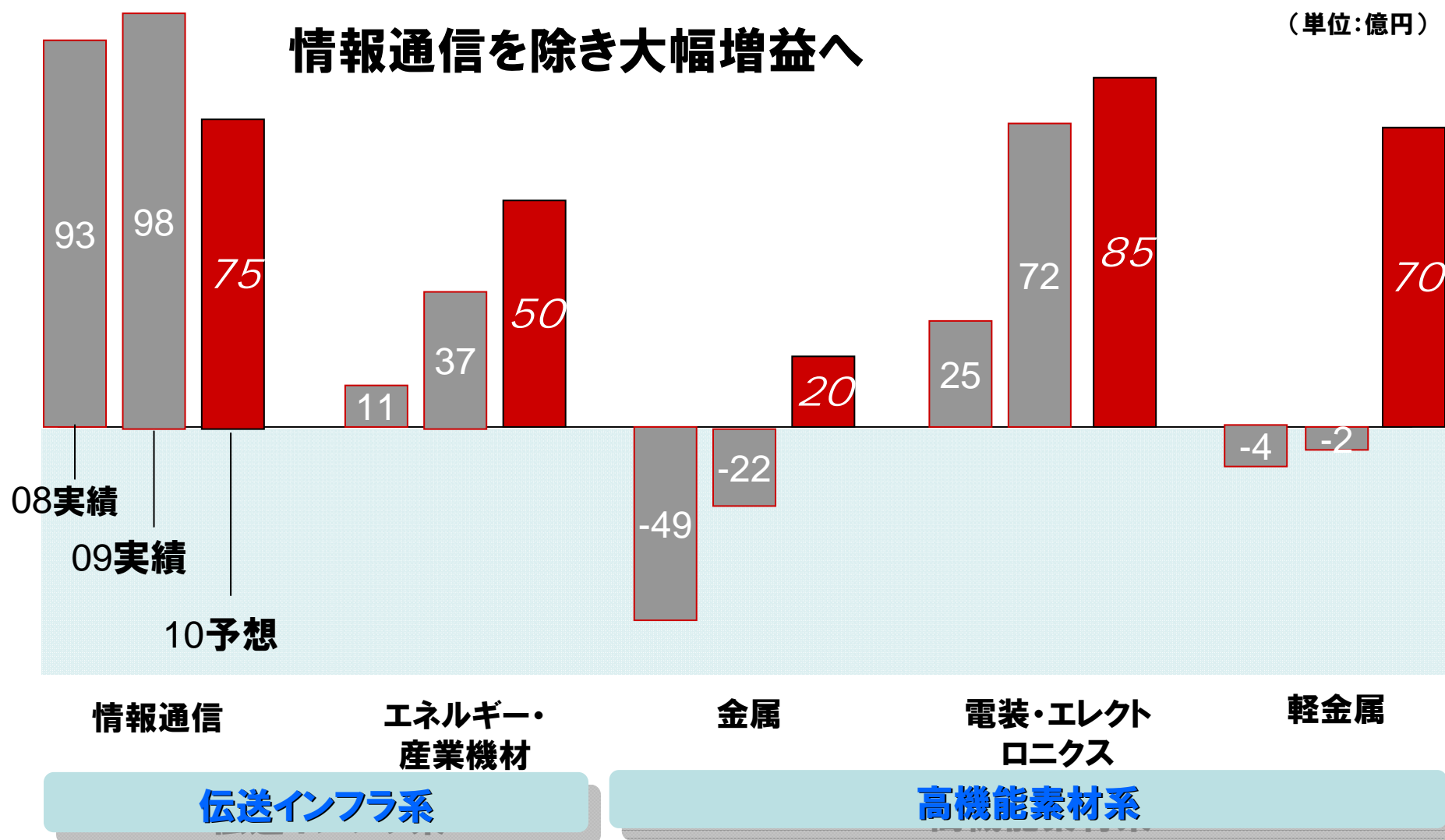
# 10年度予想 営業利益+117億円増

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

	a		b	b-a
	08実績	09実績	10予想	増減
売上高	10,328	8,097	9,000	+903
営業利益	98	203	320	+117
経常利益	-148	193	270	+77
当期利益	-374	97	110	+13
諸元		09実績	10予想前提	変動
為替(円/ドル)		92.9	90	-2.9
銅地金(円/kg)		610.3	640	+29.7
アルミ地金(円/kg)		190.2	220	+29.8
原油(ドバイ、ドル/B)		69.6	79	+9.4

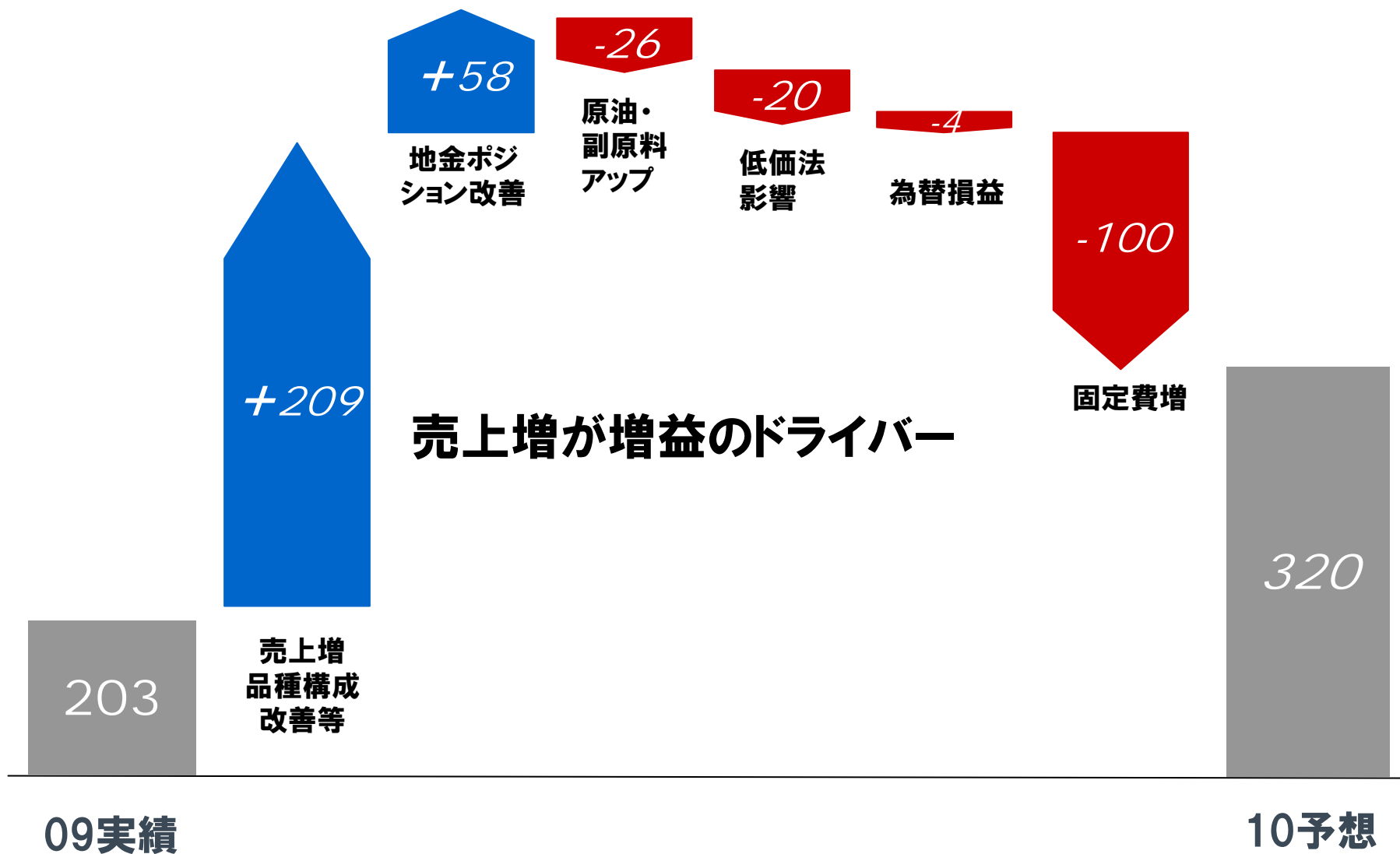
# セグメント別営業利益予想



# 営業利益増減分析【09実績】⇒【10予想】

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)



09実績

10予想

# 10年度設備投資・研究費予想

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

	09年度実績	10年度予想	変 動
設備投資	254	360	+106
減価償却費	425	435	+11
研究費	173	200	+28

# 10年度BS予想

FURUKAWA ELECTRIC

(総資産、有利子負債の単位:億円)

	a	b	b-a
BS	09年度末	10年度末予	増減
総資産	8,358	8,246	-112
自己資本比率	19.6%	20.7%	+1.1
有利子負債	3,621	3,471	-150
D/Eレシオ	2.2	2.0	-0.2
総資産回転率	1.0	1.1	+0.1
ROA (営業利益ベース)	2.4%	3.9%	+1.5

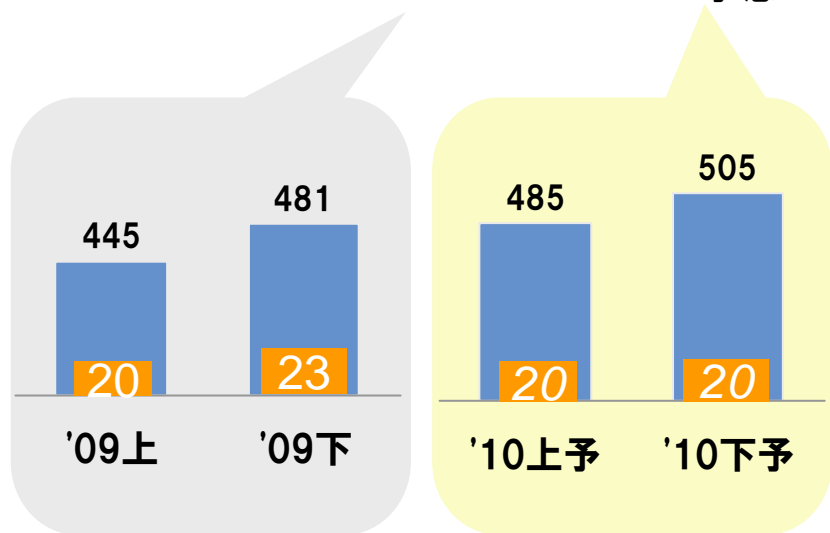
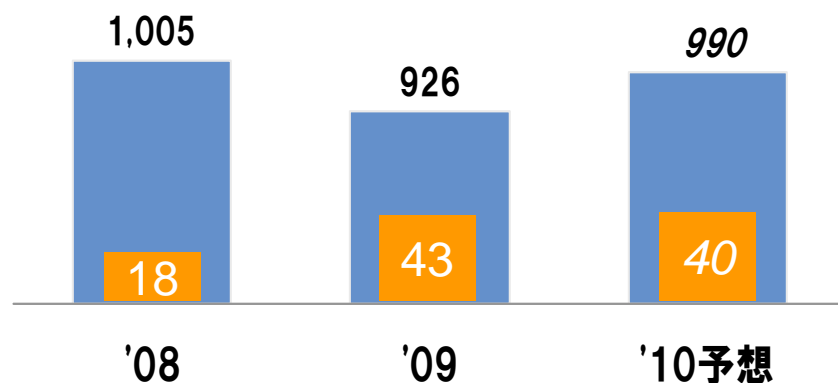
# 10年度配当予想

	09年度実績	10年度予想	変動
年間配当	5.0円	5.5円	+0.5円

当社は、安定配当を基本としながら、長期的な視野にたつて、今後の収益動向を見据えつつ、将来の事業展開を勘案し、配当を行うことを基本としております。業績の回復に伴い、10年度につきましては0.5円の増配予想といたしました。

# セグメント情報

売上高 ■ 営業利益 ■



営業利益の変動要因

(単位: 億円)

'08⇒'09

18⇒43

+25

- + 中国・インド向け輸出が伸張
- + 国内FTTH系堅調
- 米国回復も欧州低調続く

'09⇒'10e

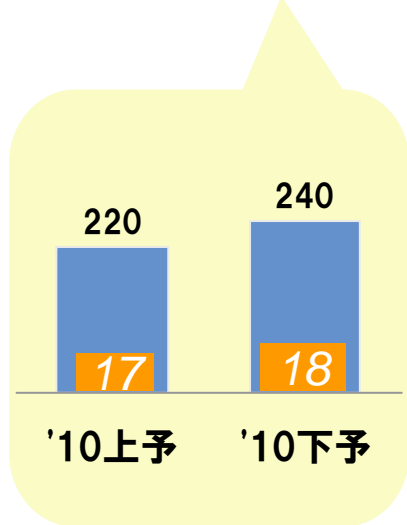
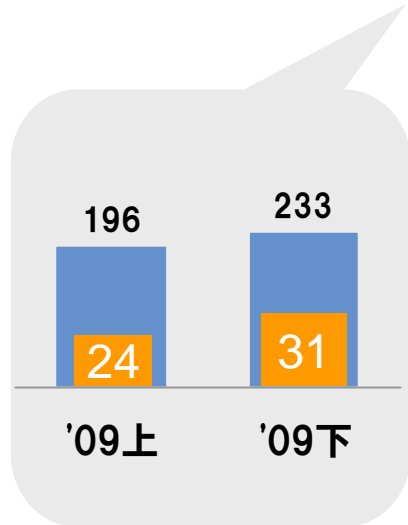
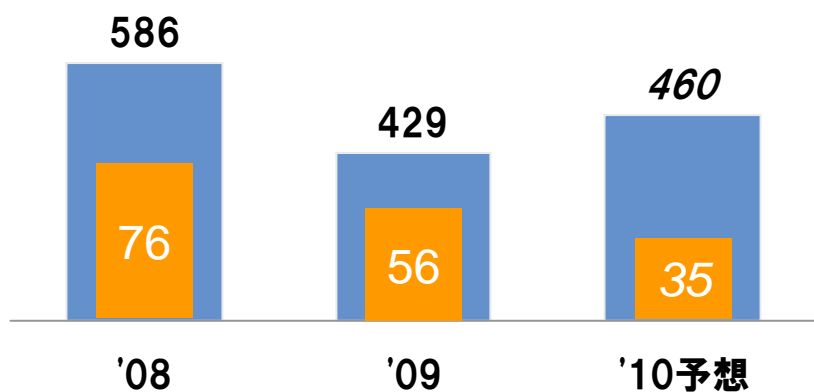
43⇒40

-3

- 国内光ケーブル低調
- + 中国光ファイバ09並の好調続く
- + 南米LANケーブル好調



売上高 ■ 営業利益 ■



営業利益の変動要因

(単位:億円)

'08⇒'09

76⇒56

-20

- レーザ・アンプ国内NGN向け減速
- ルータ低調
- + CATV、鉄道電波システム堅調

'09⇒'10e

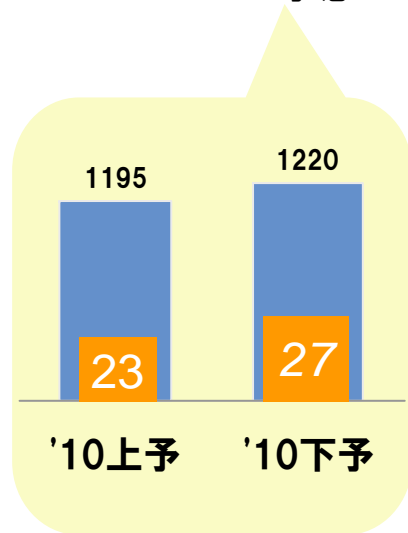
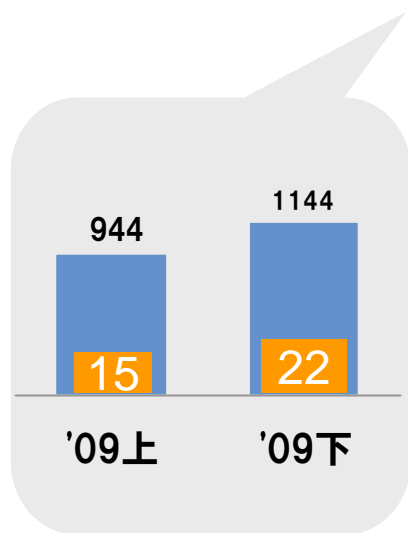
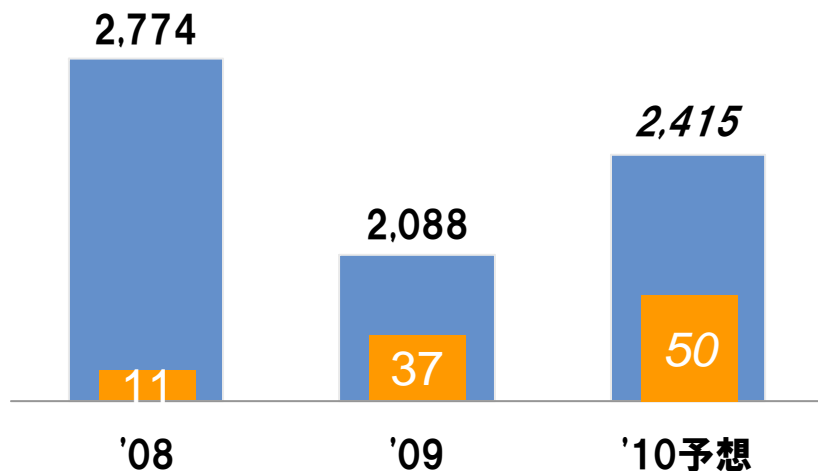
56⇒35

-21

- レーザ・アンプ低調
- ± 国内FTTH関連堅調
- + 鉄道電波システム'09並で堅調

# エネルギー・産業機材 <銅線・電力、プラスチック>

売上高 ■ 営業利益 ■



営業利益の変動要因

(単位:億円)

'08⇒'09

11⇒37

**+26**

エネルギー

- + 中国高圧ケーブル好調
- 国内産業電線悪化

産業機材

- + 半導体テープ回復
- 発泡製品低調

'09⇒'10e

37⇒50

**+13**

エネルギー

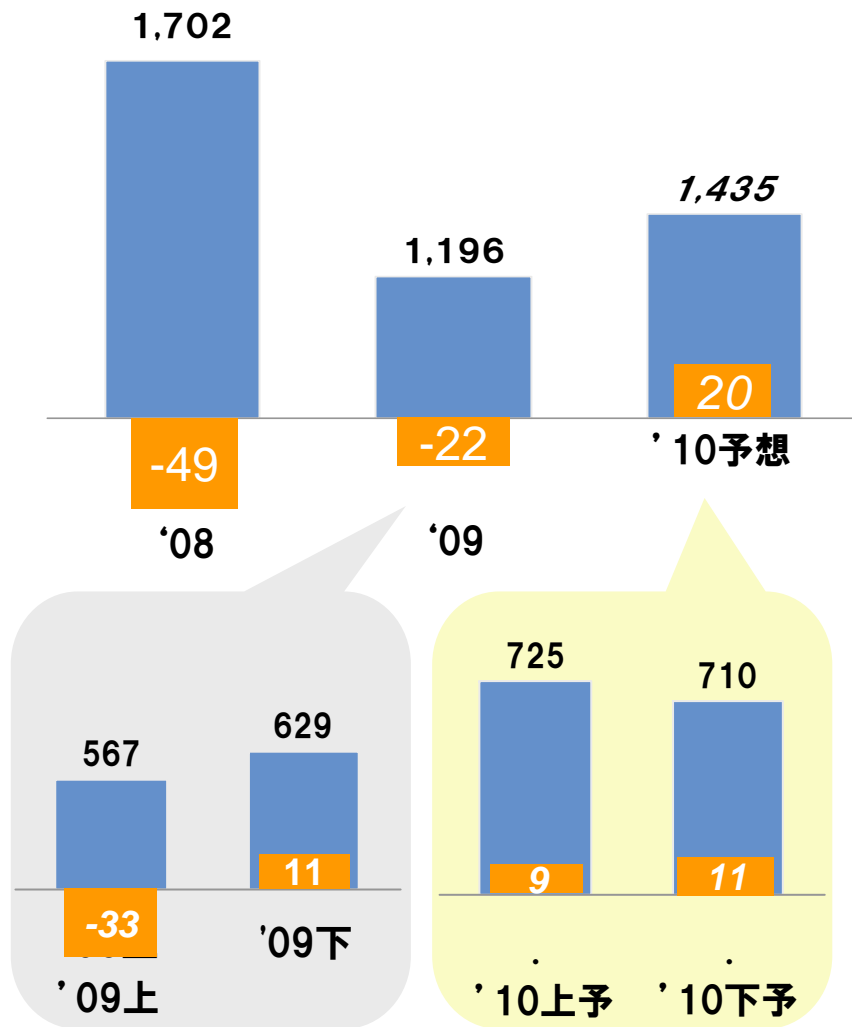
- + 中国高圧ケーブルコストダウン推進
- + 国内産業電線コストダウン推進

産業機材

- + 半導体テープ堅調
- + 発泡製品コストダウン推進

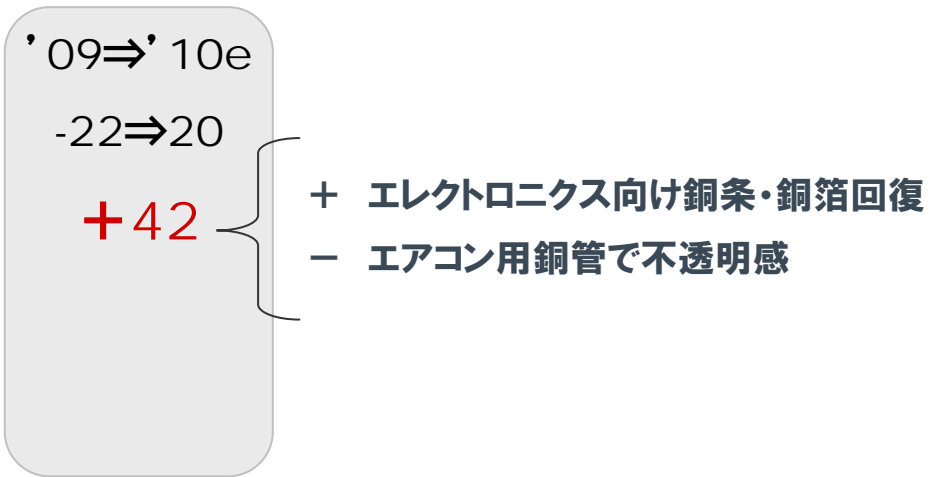
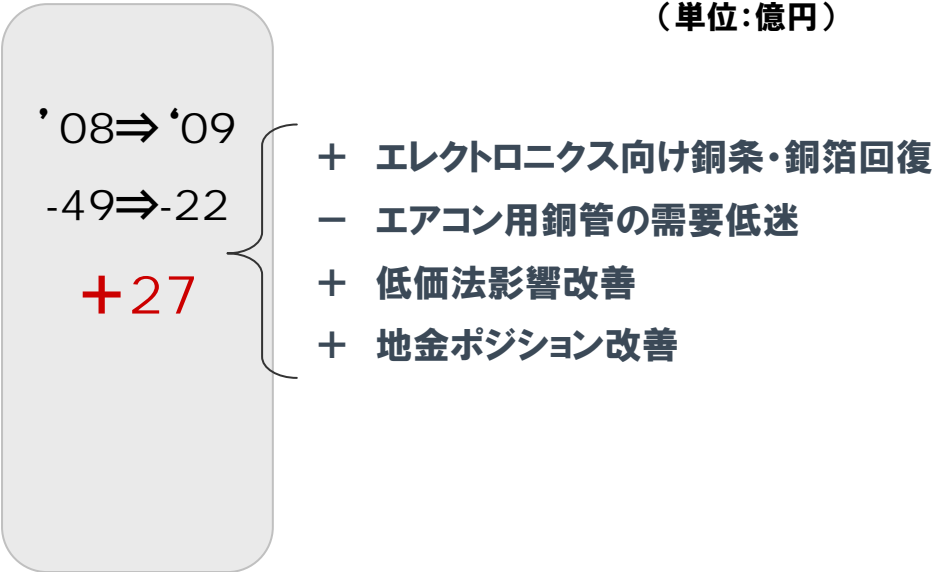
金 属 <銅条、銅管、銅箔>

売上高 ■ 営業利益 ■

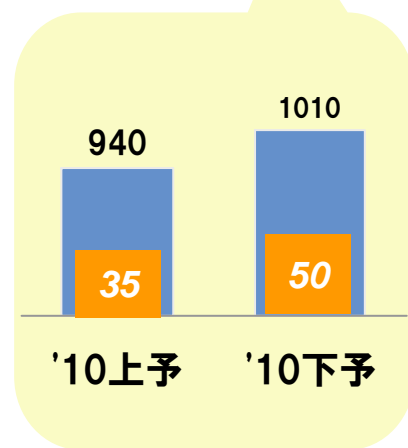
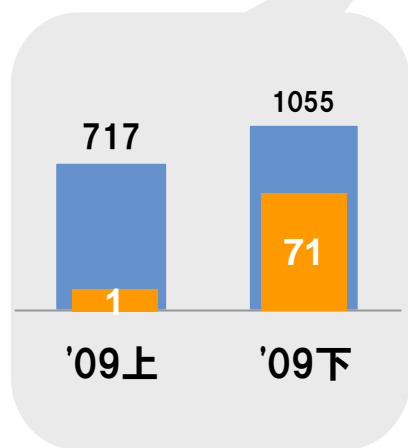
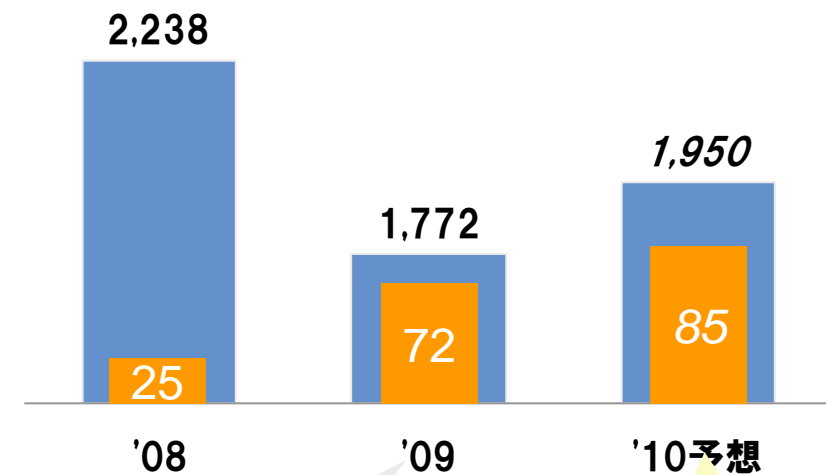


営業利益の変動要因

(単位:億円)



売上高 ■ 営業利益 ■



営業利益の変動要因

(単位:億円)

'08⇒'09

25⇒72

+47

- + 自動車用ワイヤーハーネス回復
- + HDD用アルミブランク材好調続く
- 巻線低調

'09⇒'10e

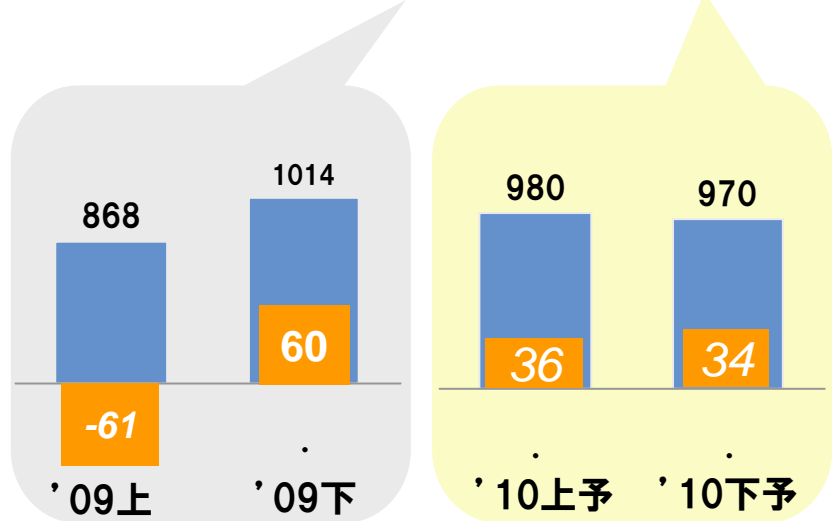
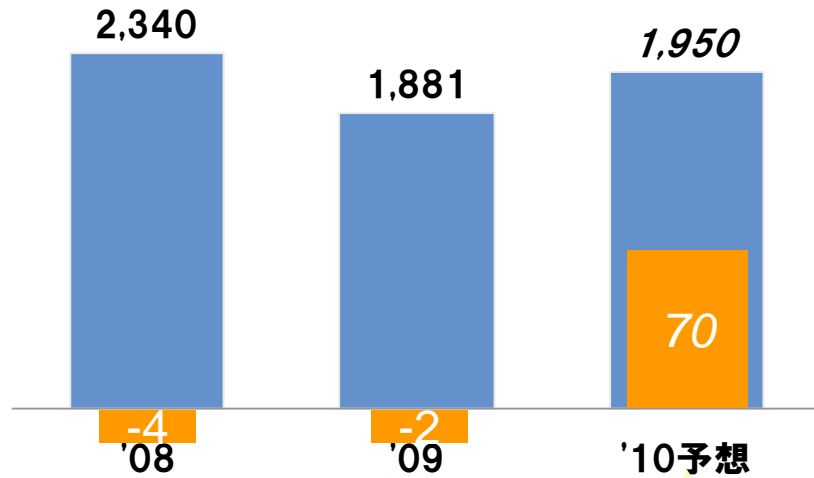
72⇒85

+13

- ワイヤーハーネス好調続くも慎重視
- + HDD用アルミブランク材上期好調続く
- + 巻線回復基調続く

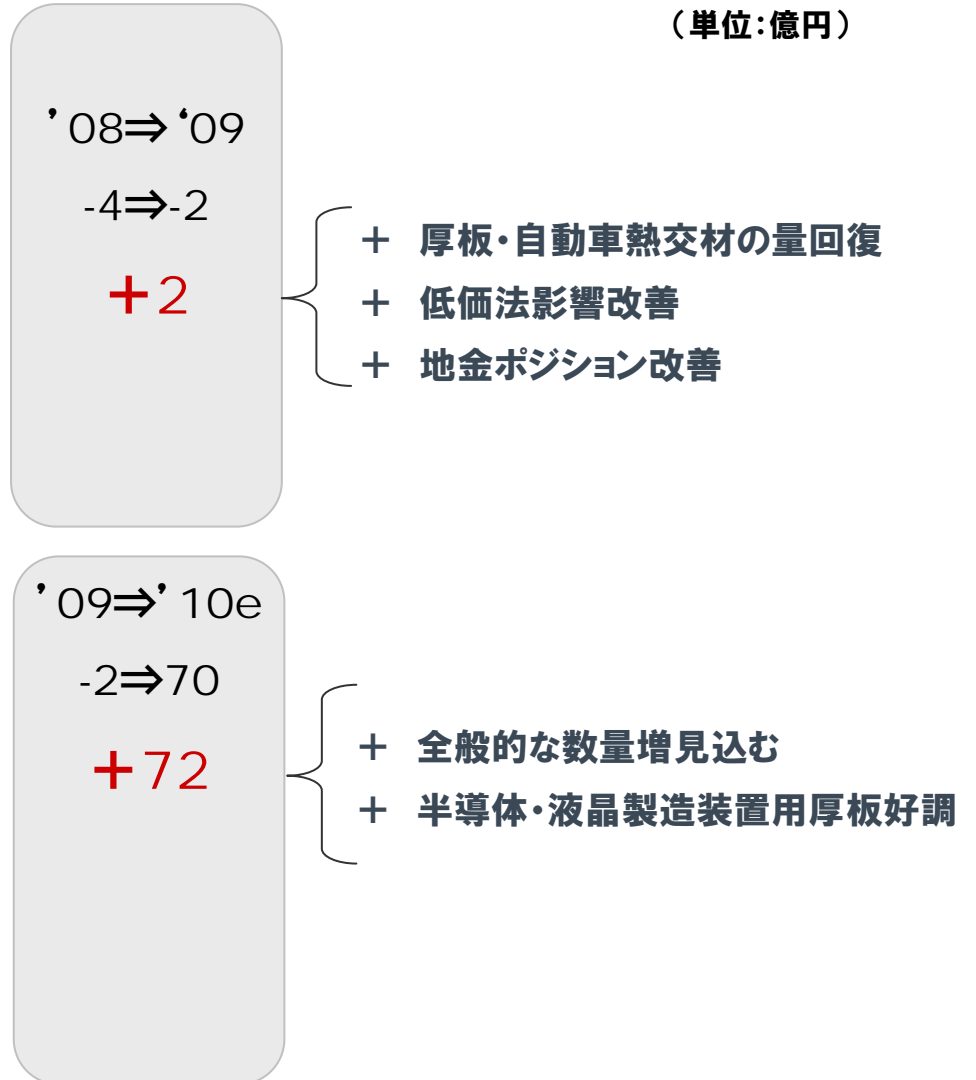
# 軽金属<アルミ加工品>

売上高 ■ 営業利益 ■



営業利益の変動要因

(単位:億円)



ご清聴ありがとうございました。

***Bound to***  ***Innovate***

## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。